

2学期をふりかえって

学校長 杉森 伸吉

今年も残すところあとわずかとなりました。日ごろは本校の教育等に関して、格別のご理解とご協力を下さり、まことに有難うございます。

2学期は特に、80周年記念式典等もあり、子どもたちも日ごろから培ったチームワークを発揮して取り組みましたし、PTA、泉友会、菊泉会の皆様からの絶大なるご協力をたまり、盛会のうちに無事に終えることができました。重ねて御礼を申し上げます。

2学期から新たに菊の子となった編入生の皆さんも、すぐに学校に溶け込み、それぞれの自分らしさを発揮して、活躍する姿を見て、「編入生の皆さんや保護者も、受け入れる子どもたちや先生方・保護者の皆さんも素晴らしい」と思いました。

つい先週には、特に編入生の多いゆり組の行事である「ゆりランド」が開催されました。ここでは、様々な帰国児童たちが、自分たちのいた国の文化や特色について、ポスターやクイズ、ゲーム、実演などを通じて各学年の子どもたちにプレゼンテーションをしたり、保護者の皆さんが、滞在していた国の数々の料理を紹介して下さったりしました。ご存じの通り、日本の公立学校で初めて本校が帰国児童クラスを作りました。それが1969年ですが、来年は50周年を迎えることになります。

2学期をふり返りますと、非常に物事がスピーディーに過ぎていく中で、生活団の6年生を中心として、それぞれの皆さんが、素晴らしく団結し、短い準備期間にもかかわらず、全校遠足、ゆり組の富士山移動教室、運動会、きくまつり、群読や歌を含む80周年記念行事と式典、菊の子展覧会、フリータイム学習の成果発表会、日ごろの学習や生活団活動などなどに、たいへんしっかりと取り組んだことで、すぐには目に見えないような人間力も、非常に高まったと思います。こうした活動によって身について行く力は、一生の思い出になるとともに、生涯の目に見えない財産となります。

また先日は、5、6年生の保護者会でお示ししましたが、7月の新しくなった富浦寮での臨海学校（遠泳）の効果測定を行いました。これは10年ほど前に、学芸大とJTB法人東京との産学連携として開発した、「学校行事評価システムSEAS（シーズ：School Events Analyzing System）」を用いて行いましたが、いわゆる生きる力の中の、健康・体力だけではなく、たしかな学力（関心・意欲・態度：モチベーション、思考・判断：問題解決的思考力、技能・表現：実行力やリーダーシップ、知識・理解：情報収集力や活用力）、とりわけ豊かな人間性に関して、極めて高い値がみられました。愛校心や、日ごろの行事への取り組み姿勢、行事全般への満足度についても、これまで評価してきた10万人近い多数の学校の児童生徒の値に比べはるかに高い値でした。今後も、附属大泉小学校ならではの、様々な行事の効果について、「見える化」していきたいと思っております。

なお、本校の探究科での総合学習的取り組みや、オペレッタなどの活動のいくつかについ

でも、全国の教員や教員志望学生なども学べるように、(80周年に際して作成した学校紹介ビデオとは別に)DVD教材として映像化する取り組みも開始することとなりました。何卒ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

冬休みに心身ともに充電をして、3学期の始業式には、パワーアップした児童の皆さんと会えるのを、教職員一同楽しみにしております。